

1. 基礎情報

所属自治体名	佐賀県伊万里市
氏名	しょうけつ 章 潔
現所属部署名	まちづくり課
電話番号	0955-22-7046
役職	多文化共生マネージャー



JA伊万里 技能実習生への出前講座の様

在留外国人数	令和4年9月現在	555	人	住民基本台帳人口に占める割合	1.0	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (インドネシア)	221	人	2位 (ベトナム)	123	人
				3位 (中国)	52	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援
小分類	日本語教育の推進
取組のポイント	文化庁地域日本語教育スタートアッププログラム
具体的な取組内容	<p>現在、市内在住の外国人は460人を超えており、総人口の0.87%を占めている。これまで、生涯学習センターで日本語教室が開催されてきたが、多くの外国人が居住する黒川町から約10キロも離れていることから、移動手段が自転車しかない技能実習生にとっては、通うのが困難な距離となっており、参加者が年々減っている。より多くの在住外国人が伊万里市民として、円滑な生活を送ることができるよう、「地域日本語教育スタートアッププログラム」を活用した「日本語教室Awesome IMARI」を、黒川町を中心に開催するよう、計画した。3年間を通じて、伊万里市在住の「生活者としての外国人」に対して、日本語教育プログラムを実施するものである。初年度は主に情報収集とニーズ調査を行ったうえで、教室を3回(「①自己紹介」、「②日本の正月」、「③日本の楽器」)を開設した(1回90分)。2年目からは、初年度のニーズ調査の結果に基づいて、日本語教室を5回(「①自転車教室」、「②日本の病院とワクチン接種を知らう」、「③、④日本人との交流①、②」、「⑤市役所を知らう」)実施した。3年目は今後安定的な地域日本語教室の運営のために、8回開催する予定である。8回のうち、日本人との交流活動をメインとする教室を3回実施することによって、多文化共生社会の実現に貢献する。</p>
大分類	意識啓発と社会参画支援
小分類	多文化共生の意識啓発・醸成
取組のポイント	多文化共生によるまちづくりの人づくり、組織づくり
具体的な取組内容	<p>日本語教室の活動を支えているのはコーディネーターのみなさんである。コーディネーターとは、教室の運営を携わる人、役割は「学習ニーズの把握」や「日本語教室のPR、企画・準備、実施」、「カリキュラム・学習教材の作成」などである。現在、14名が在籍しており、活動に熱心に参加している。</p> <p>コーディネーターづくり、いわゆる人づくり、そして組織作りは「オーサムいまり」活動の大きなポイントである。毎年、日本語指導者養成講座を開催し、講師は大学の教授や郷土文化会の会長など、専門分野の先生たちが務めている。活動を通じて、コーディネーター14名からなるチーム日本語教室の体制づくりが充実され、事業ビジョンの共有、教室の目標設定、メンバーの役割分担、コミュニケーションの円滑化、情報共有などができ、チームワークが高まった。</p> <p>今後、事業継続のため、引き続き人材の発掘・養成・スキルアップを図る。そのため、定期的に指導者養成講座を開催し、また、県国際交流協会などと連携し、人材の紹介・斡旋・スカウトをする。「Awesome IMARI」を伊万里市の多文化共生の拠点として、地域の活力向上に寄与した。</p>